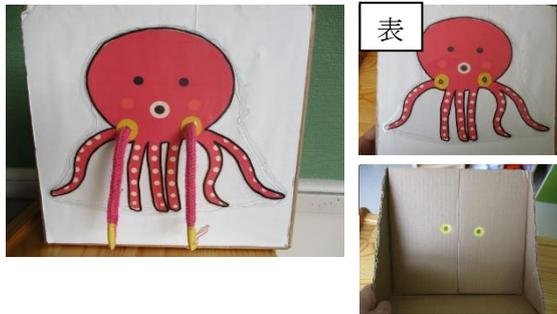


|                 |                         |          |
|-----------------|-------------------------|----------|
| 主に関係する<br>領域・教科 | 自立活動                    | 氏名：棚田枝里子 |
| 教材・教具名          | ・ひもとおし・ゴムとおし            |          |
| ねらい             | ・両手を使って操作できる。 ・手元をよく見る。 |          |

教材教具の説明（写真等を使ってわかりやすく記述）



裏からひもを通し、表から出てきたひもを引っ張って、たこの足が完成！



小さなヘアゴムを、色ごとに棒に通していく。ゴムが小さいので、少し伸ばさないと通らない。



| 制作のポイント  | 使用材料・部品   |
|--|---|
| <p><b>ひもとおし</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表面は、ひもが通ったことで嬉しくなるよう、イラストを貼った。裏面は、穴が分かりやすいよう、シンプルに目印のみ。</li> </ul> <p><b>ゴム通し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・片手では、通しにくいように、小さいヘアゴムを使用した。</li> <li>・下まで入れるまで意識が向けられるよう、ギザギザで滑りにくい木製のボルトを使用した。</li> </ul> | <p><b>ひもとおし</b></p> <p>段ボール、ひも、ビニールテープ</p> <p><b>ゴム通し</b></p> <p>板、木製ボルト、ヘアゴム</p> |

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 実践     | <p><b>ひも通し</b> ～使い方～ 左手で穴に入れて右手で引っ張る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めは、左手のみで行う様子が見られた。しかし、片手では通せず諦める様子。</li> <li>・右手を使うよう促すと、左手をおろしてしまう。</li> <li>・両手を使うことが分かるよう、児童の右手と左手を一緒に支え、繰り返し取り組むと、一人でできるようになった。</li> </ul> |  |
|        | <p><b>ゴム通し</b> ～使い方～ 色ごとにゴムを分ける。両手でゴムを伸ばして入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・左手のみで行おうとする。色の弁別課題やリング通しの経験があるせい</li> <li>・か、手元を見ずに通そうとする。しかし、片手では通しにくい。</li> <li>・右手を使うよう促すと、両手で伸ばして通すことができる。</li> </ul>              |  |
| 効果・改善点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に集中することができるようになった。</li> <li>・以前からできていたシール貼りも、手元をよく見て貼るようになり、印のある場所にはることができるようになった。</li> <li>・両手を使って作業する経験を積み、ボタン外しに取り組んでいきたい。</li> </ul>  |  |